

令和4年度

石井中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 創意工夫ある授業づくり
- 家庭学習習慣の定着

学力向上検討委員会構成

- | | | |
|---------------------|--------------------------------------|------|
| 学力向上推進員
(1年学年主任) | 委員 教頭:
教務主任:
学年主任:(2年)
教科主任 | (3年) |
|---------------------|--------------------------------------|------|

校長

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や生徒・教員へのアンケート等,様々な機会を捉え,取組状況の把握を行う

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的事項を理解しようと努める生徒が多い ●テスト後の復習等が不十分であり,家庭学習の十分な時間確保には至っていない	・授業に目的意識をもって臨み,学んだことを習熟している ・毎日,家庭学習の時間を確保し,予習復習が習慣化している	・授業の復習となる課題や反復を伴うプリント・ワークを課し,それらの確認を丁寧に行う ・テスト後の復習等の重要性を理解させ,自主ノート等に復習することを習慣化させる	・これまでの取り組みを継続していく		

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○話し合い活動の良さを認識している生徒,考え方や解き方,根拠を問う問題に意欲的に取り組もうとする生徒が多い ●自分の考えや意見を表現することに消極的な生徒が多い	・言語能力を高めていく表現が工夫できる理由が述べられる思考の過程を説明できる	・多様な教材及び活動形態を取り入れ,伝え合う活動を積極的に設定する ・考え方や解き方,根拠を問う問題をテストや課題,制作等に取り入れる ・教員が相互に授業参観を行う	・これまでの取り組みを継続していく		

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○日常生活に関連し多様な考え方ができる課題に意欲的に取り組もうとする生徒が多い ●自ら疑問や課題をもって授業に臨む生徒は少ない	・始業時の準備を徹底し,授業中のルールを守り,周りとともに学び合える ・自ら疑問や課題をもって,主体的に取り組む	・授業の最初にめあてを提示し,最後にはふり返りを行う ・コンピュータ等(ICT)の効果的な活用を図る	・これまでの取り組みを継続していく		

令和4年度 学力向上ロードマップ

